

平成28年度第1回河南町地域公共交通検討会議 会議録（議事要旨）

- 日 時 / 平成28年5月31日（火）午後2時00分～午後4時30分
- 場 所 / 河南町役場4階 大会議室南
- 出席者 / 委員13名／欠席委員3名
事務局5名
傍聴者10名
- 配布資料
 - ・議事次第
 - ・委員名簿
 - ・検討会議資料
 - ・地域公共交通のバス停の新設（案）
 - ・地域公共交通愛称選考
 - ・運行ルートの見直し（案）
 - ・運行方法の見直し（案）
 - ・河南町地域公共交通実証運行の実績
- 議事次第
 1. 開会
 2. 挨拶
 3. 委員紹介
 4. 報告事項
 - （1）河南町地域公共交通実証運行の実績報告
 - （2）事業評価
 - （3）フォローアップ調査
 - （4）利用促進
 - （5）スケジュール
 5. 運行内容の見直しについて
 - （1）地域公共交通のバス停の新設について
 - （2）地域公共交通の運行ダイヤ見直しについて
 - （3）運行ルートの見直しについて
 - （4）運行方法の見直しについて

6. その他

- ・地域公共交通愛称選考について

7. 閉会

○議事内容

■河南町地域公共交通実証運行の実績報告

事務局から説明。

■事業評価、フォローアップ調査、利用促進

事務局から説明。

■地域公共交通のバス停の新設について

事務局から説明。

大ヶ塚西、大宝地区公民館北、大宝地区公民館東を7月1日から追加、道の駅かなんを用地整備後からバス停位置の変更を提案。

◆意見

・今回のバス停の追加については、当初なかったのが不思議なぐらいで、追加に関して異議はない。

・道の駅のバス停を対側に移動させるということだが、視察して提案したものか。

→実際に現地確認をしている。

・安全面第一に実施していただきたい。

→安全を第一にさせていただく。

・バス停の変更は、本会議で可決すれば、即変更となるのか。

→バス停の変更、それからダイヤの変更については交通会議において事後報告になる。

従って今回の案件は、交通会議に諮る必要はないが、関係機関との協議は必要である。

・バス停の見直しを行う頻度はどの程度か。

→年間3回程度を考えている。

■地域公共交通の運行ダイヤの見直しについて

事務局から地域公共交通の運行ダイヤの見直しについて、始発を7時台、終発を18時台

とし、現運行ダイヤから1時間前倒しすることを説明。

- 中学生のニーズというのは確実にあると思うので、ダイヤの見直しは賛成。
 - 部活が6時までであるということで、今の状態で1時間前倒しすると、中学生は帰宅できないのでは。
- 2～4月の実績では中学生の19時台の利用はく、18時台が最終で利用されている。
- 当初7時台からでなく、8時台にする理由というのが、金剛バスさんとの競合を避けるというのがあったと考えるが。
- 今回は中学生が対象となっているので、富田林の駅まで行くわけではなく、町内の移動となる。従って金剛バスと競合することはないと考えられるので、本計画で進めたいと考えている。

■運行ルート、運行方法の見直しについて

事務局から南部Aルートについて、南A9馬谷の乗降客数がかなり少ないため、町道上河内馬谷線を通らずに白木バイパスを通るルートを提案。

事務局から南部Bルートについて、なるべくこのルートの運行時間を短くするという目的と、それから前田クリニック、おおにし歯科、こういった病院に接続するルートを提案。事務局から山手路線の利用状況を鑑み、デマンド型運行の導入を検討している旨を報告。

- 運行時間はどれぐらいか。
- 南部循環バスBは大体1周で30分になる。南部循環バスAは白木バイパスを使うことによって、少なくとも5分ぐらいは短縮される。
- A10の乗車はかなり多いが、かわりのバス停は。
- さくら坂の外周のほうからさくら坂南のほうに通ずる道があるため、バス停の位置変更によって、対応する。
- 廃止になるバス停のある地区への説明は。
- 廃止ではなく、あくまで休止で、実証運行でいろんなルートを確認したいと考えている。また、今の状況の中でのアンケートもとることを考えています。
- 馬谷の世帯数に対して考えると、結構乗っているように思う。そのため、地区に対して丁寧に説明をしないといけないと考える。
 - 南部Aは前田クリニックに行く人が結構多いが、ファミマから前田クリニックを通過するととなると、時間がかかる。

→南部を今、A、Bに分けているが、一つのコースで行けるようなルートも検討している。

- 大きな意見として、毎日運行してほしいという意見は必ず出てくる。
- A、Bルートを一つにできて、毎日運行になり、かつそれぞれに時間短縮ができたということになれば、南コースとしての一つの形が出来あがると思う。
- 日曜日の運行ルートは非常に長いルートになっており、1時間以上かかっているということがあって、利用する人はいないかなという感じを受けている。従って提示しているルート変更の案とともに、このルートについても検討するということを提案させていただきたい。

ルートの変更については、法定会議へ諮る必要があり、今回ご指摘がありましたあたり事項を踏まえ、再度提案させていただくこととします。

■スケジュールについて

事務局からスケジュールについて説明。

- 今回のような軽微な変更というのは、どのタイミングなされるのか。

→軽微な変更については検討会議のスケジュール通りで考えている。4カ月、3カ月単位程度を考えている。次回については、8月末から9月に第2回の検討会議を開きたいと考えている。

- 今後のスケジュールについて、再度作成し早急に委員へ送付すること。
- 利用促進策として利用状況をホームページに掲載するだけでなく、ニュースの発行も重要である。

→ホームページへの掲載は引き続きさせていただき、併せてニュースの発行も検討させていただく。

■地域公共交通の愛称募集について

事務局から地域公共交通の愛称募集について、選考を各委員に依頼。

■その他

- 利用促進策の中で、今後、住民健診時などに公共交通を利用してもらえるよう検討していくべきだと思う。

- 回数券とか定期券の発行も今後考えていかないといけないと思う。回数券や定期券であれば何らかのイベントの賞品としても使うことができると思うので検討していただきたい。
 - バス停や時刻表の変更等については、金剛バスに説明をしつつ、理解を求めるとともに、皆様によるまちづくり、またバス運行をやっていただきたいと思う。
- 金剛バスというのは基幹バスで、その関係をどう構築していくのかというのは前々からのテーマである。本日は、特に乗り継ぎの話等は出ていないので、今後分析し、検討していきたいと考える。